

記入例①和食・洋食・中華料理店（利用人数）

工事着手前に提出して下さい。

別記第5号様式（第4条関係）

除害施設設置計画届書

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

提出日を記入してください。

函館市公営企業管理者企業局長 様

住所 函館市〇〇町〇番〇号

届出者 氏名 株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

電話 〇〇局〇〇〇〇番

次のとおり除害施設の設置計画を届け出ます。

1 設置場所	函館市 町 丁目 (番地) 号 番
2 計画の種別	新設 増設 改築
3 使用者	住所 (所在地) 函館市 町 丁目 (番地) 号 番
	氏名 (名称) 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇店)
4 工事施行業者	住所 (所在地) 函館市 町 丁目 (番地) 号 番
	氏名 (名称)
5 工事期間	着手予定年月日 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
	完成予定年月日 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
6 除害施設の管理責任者の氏名	店長 (〇〇 〇〇)
7 製品名	(例) 洋食
8 月間生産量	(例) 50食/日 × 25日/月 = 1,250食/月
9 作業時間	〇〇時〇〇分から〇〇時〇〇分まで

店舗の名称が決まっている場合は記載してください。

届出者、店舗またはちゅう房の責任者（店長等）。

ちゅう房の使用時間。

別紙 1

除害施設の構造

除害施設	No. 1	No.
1 処理方式	浮上分離方式	
2 名称	グリーストラップ	
3 メーカー ・ 型式	(例) 〇〇株式会社 〇-50△△	
4 台数	〇台	
5 材質	(例) FRP	
6 主要寸法 (m)	(例) L 〇〇 × W 〇〇 × H 〇〇	長さ×幅×高さ。 単位はm。
7 処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	(例) 37.5 (L/min) = 54 (m <sup>3</sup> /日)	(例) グリーストラップ 実容量 50L の場合 許容流入流量 50 L×0.75 =37.5 L/min 処理能力 37.5 L/min = 54 m <sup>3</sup> /日
8 設置図	別紙のとおり	別紙のとおり
9 工事着手 予定年月日	本書 5 工事期間の着手予定年月日と同じ日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
10 工事完成 予定年月日	本書 5 工事期間の完成予定何月日と同じ日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
11 使用開始 予定年月日	上記 10 工事完成予定年月日以降の日付になります。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
12 備考	(例) 店舗総床面積 〇〇m <sup>2</sup> 延べ利用人数 50人/日	本書 8 月間生産量 の1日の食数が利用人数 となります。

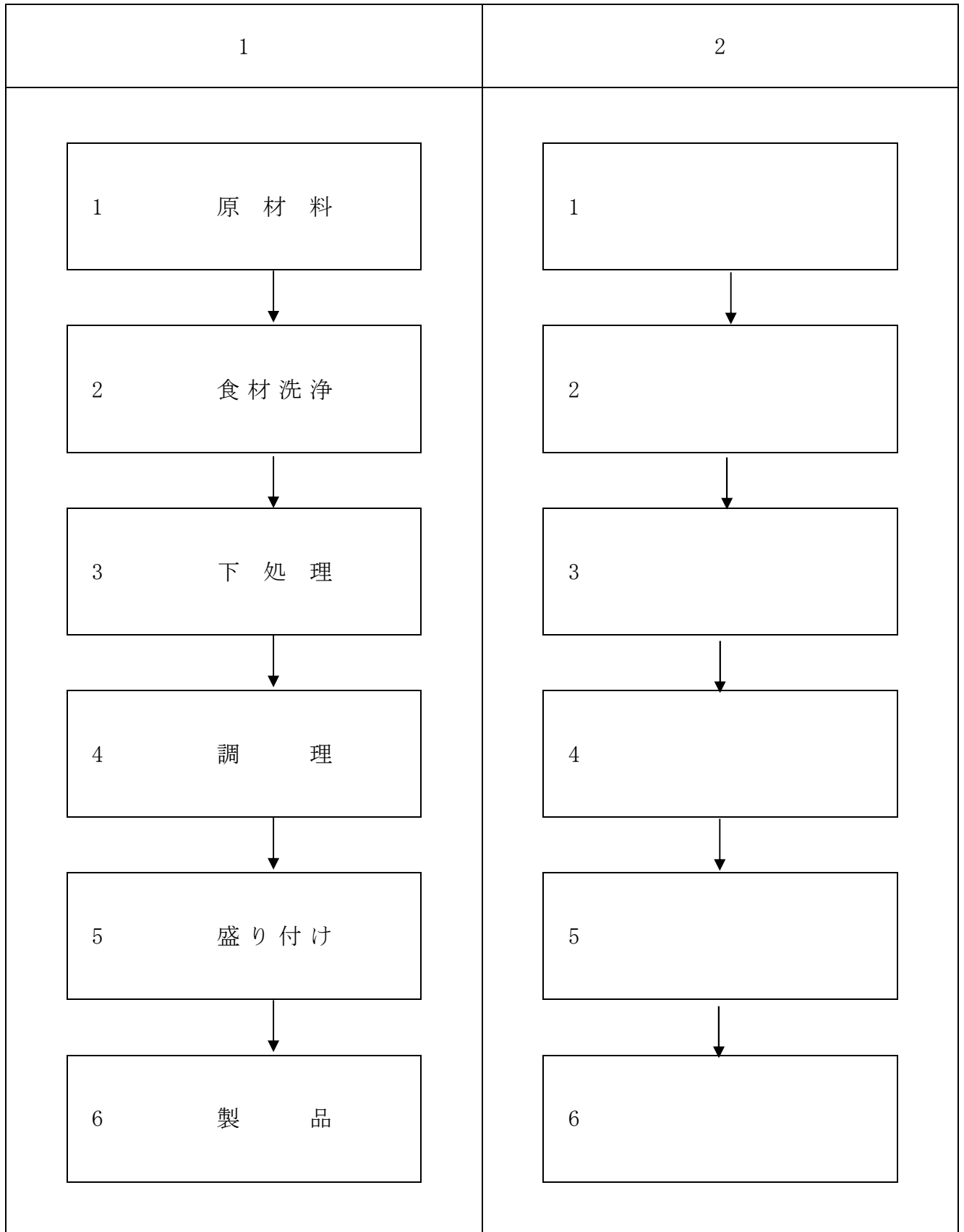
別紙 2

除害施設の使用の方法

除害施設	No. 1		No. 1													
1 処理方式	浮上分離方式															
2 名称	グリーストラップ															
3 使用方法	調理排水等の処理															
4 操業工程図	別紙 2 の 1 のとおり		別紙 2 の 1 のとおり													
5 1日当たりの使用時間	〇〇時間 (〇〇:〇〇~〇〇:〇〇)		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">                     本書 9 作業時間と同じ時間になります。                 </div>													
6 1日当たりの原材料等の使用量	別紙 2 の 2 のとおり		別紙 2 の 2 のとおり													
7 汚水の水量 (m <sup>3</sup> /日)	通常		最大													
	4.0		4.8													
8 汚水の水質 (mg/L)	BOD		SS		pH		油分		BOD		SS					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	300	360	300	360	7.0	8.0	35	42								
9 備考	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">                     利用人数に基づく選定方法です。                      食種和食・洋食・中華の一人あたりの水量は 80L であるため以下の計算となります。                      (例) 50 人 × 80 L/人 × 0.001 = 4.0 m<sup>3</sup>/日                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; margin-top: 5px;">                     一日あたりの利用人数です。                 </div>															

通常の 1.2 倍の数値となります。  
 $4.0 \text{ m}^3/\text{日} \times 1.2 = 4.8 \text{ m}^3/\text{日}$

操 業 工 程 図



別紙 2 の 2

代表的な原材料と概算の使用量を記入してください。

1日当たりの原材料等（消耗資材を含む。）の使用量

原材料等の種類		使用量(kg/日)	用途	備考
1	米類	○kg/日	調理	
2	肉類	○kg/日	調理	
3	魚介類	○kg/日	調理	
4	野菜類	○kg/日	調理	
5				
6				
7				
8				
9				
10				

別紙 3

汚水の処理の方法

1	処理方式	浮上分離方式								
2	能力 ( $m^3$ / 日)	(例) 37.5 (L/min) = 54 ( $m^3$ /日)								
3	構造	別紙図面のとおり								
4	汚水の処理 の系統図	別紙図面のとおり								
5	1日当たりの 薬品類の使用量 (凝集剤, 中和剤 等)									
6	汚水の 水質 ( $mg/L$ )	項目	B O D		S S		p H		油分	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		処理前	300	360	300	360	7.0	8.0	35	42
	処理後	200	240	200	240	7.0	8.0	18	22	
7	処理水の水量 ( $m^3$ / 日)	通常	別紙 2 7 汚水の水量と同じ数値になります。 4.0				最大	4.8		
8	発生汚泥等 の処理方法	汚泥等の量 ( $m^3$ / 月)	阻集グリースの質量と堆積残渣の質量の合計量になります。選定書からです。 (例) $\Delta\Delta m^3$ / 月 (阻集グリースの質量(kg) $\times$ 30 / 7 + 堆積残渣の質量(kg) $\times$ 30 / 30 = $\bigcirc\bigcirc$ kg / 月) ( $(\bigcirc\bigcirc$ kg / 月) / 1000 = $\Delta\Delta m^3$ / 月)							
	処理の方法	委託処理								
9	工事着手 予定年月日	本書 5 工事期間の着手予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
10	工事完成 予定年月日	本書 5 工事期間の完成予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
11	使用開始 予定年月日	別紙 1 11 使用開始予定年月日と同じ日付になります。 $\bigcirc\bigcirc\bigcirc\bigcirc$ 年 $\bigcirc\bigcirc$ 月 $\bigcirc\bigcirc$ 日								
12	備考									

公共ますにおける事業場排水（グリーストラップ排水）と生活排水（トイレ等）を合計した下水の量となります。

(例) 事業場排水 4.0 m<sup>3</sup> + 生活排水 1.0 m<sup>3</sup> = 5.0 m<sup>3</sup>

別紙 4

公共ます 1 箇所に汚水を排除する場合です。

通常の 1.2 倍の数値となります。  
5.0 m<sup>3</sup> × 1.2 = 6.0 m<sup>3</sup>

下水の量及び水質

排出口		No. 1		No.	
		通常	最大	通常	最大
下水の量 (m <sup>3</sup> /日)		(例) 5.0	(例) 6.0		
1	温度	度	度	度	度
2	アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量				
3	水素イオン濃度 (pH)	水素指数 7.0	水素指数 8.0	水素指数	水素指数
4	生物化学的酸素要求量 (BOD)	200	240		
5	浮遊物質 (SS)	200	240		
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (1) 鉱油類含有量				
	(2) 動植物油脂類含有量	18	22		
7	窒素含有量				
8	燐含有量				
9	沃素消費量				
10	カドミウム及びその化合物				
11	シアン化合物				
12	有機燐化合物				
13	鉛及びその化合物				
14	六価クロム化合物				
15	砒素及びその化合物				
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
17	アルキル水銀化合物				
18	ポリ塩化ビフェニル				
19	トリクロロエチレン				
20	テトラクロロエチレン				
21	ジクロロメタン				
22	四塩化炭素				
23	1, 2-ジクロロエタン				
24	1, 1-ジクロロエチレン				
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン				
26	1, 1, 1-トリクロロエタン				
27	1, 1, 2-トリクロロエタン				
28	1, 3-ジクロロプロペン				
29	チウラム				
30	シマジン				
31	チオベンカルブ				
32	ベンゼン				
33	セレン及びその化合物				
34	ほう素及びその化合物				
35	ふっ素及びその化合物				
36	1, 4-ジオキサン				
37	フェノール類				
38	銅及びその化合物				
39	亜鉛及びその化合物				
40	鉄及びその化合物 (溶解性)				
41	マンガン及びその化合物 (溶解性)				
42	クロム及びその化合物				
43	ダイオキシン類	pg/L	pg/L	pg/L	pg/L
摘要		水質については生活排水による汚濁負荷量を除いた数値とする。			

項

目

記入してください。

備考

- この表に掲げる項目の単位は、温度、水素イオン濃度 (pH) およびダイオキシン類以外の項目については、mg/Lとする。
- 「摘要」の欄は、下水の量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

別紙 5

公共ます1箇所に汚水を排除する場合は。

別紙4 下水の量と同じ数値となります。

用水及び排水の系統

1	用水及び排水の系統図	別紙図面のおり							
	排出口	用 水							
		水道水 (m <sup>3</sup> /日)		地下水 (m <sup>3</sup> /日)		その他( ) (m <sup>3</sup> /日)		合 計 (m <sup>3</sup> /日)	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
2	No. 1	(例) 5.0	(例) 6.0					(例) 5.0	(例) 6.0
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	No.								
	合 計	(例) 5.0	(例) 6.0					(例) 5.0	(例) 6.0